



## 仲良く遊べる友だち作り

子どもの仲間作りは、大人ほど難しくはありません。  
何故なら、自分と他者は、同じと考えているからです。

近くで遊んでいる子に対して、黙ってその子の遊びの道具を取って遊び始めます。取られた子どもは、きょとんとして状況が分からず許し合えたかのように、さらに遊び続けます。

しかし、成長と共に、自分と他者は違うと言うことに気づきはじめる時期がやってきます。その時期は、2歳から3歳にかけて始まります。今まで他者と皆同じと感じていた子どもも、ある時期から自分の欲求をしっかりと満たしたいと思うようになってきます。今まで何事もなく一緒に遊んでいた仲間に対して、突然、手を上げたり、噛みついてしまったりと、攻撃的な行動を表します。



この姿に、親は大きな声を張り上げ注意し、気づかせようとします。子どもはビックリして、さらに攻撃的な行動を取り始め、自分の欲求を満たそうとしていきます。

これが、攻撃性の連鎖を起こします。自己主張から出る欲求不満をどのように消失させていくかは、とても難しい課題です。でも、一つ和らげていく方法があるように思います。

それは、攻撃性が生まれにくい穏やかな環境を作り、ゆったりと過ごさせていくことで、不満を柔らげることができます。攻撃性は時を待てば消失しますが、待っていたのでは、被害をうける子にとってはたまりません。

そこで、もしこのような行動が現れたら、是非試みて欲しい事があります。まず、いきなり叱るのはNGです。どんなに聞き分けがなくても、あの手、この手で、言い聞かせ心を落ち着かせてあげることが大切です。理解は、まだ出来なくても大丈夫です。

この、あの手、この手は、「落ち着かせる」と言う手段だと理解して下さい。落ち着きができた段階で、しっかりと叱ってあげてください。これが、大切です。

この落ちつかせることで、「自分が愛されている」「大切にされている」という自己肯定感を持ちつつしっかり叱られることは、「素直な気持ちで受け入れられる」に繋がる事なので、こうした内的な気持ちが支えられていると、攻撃性は確実に消失する方向に向かいます。

毎日の出来事に、親は苦勞しますが、親同士も、互いの大切な子どものことなので、心の繋がる挨拶でわかり合えるよう心がけたいものですね。

どちらも、大切な子どものこと。相手の気持ちになってフォー UP していきましょう。やがて、その子とは大切な友となることを夢見て。